

公益財団法人

NO. 73 (2025. 10. 20)

三河郷友会会報

三河郷友会OB・OG会

公益財団法人三河郷友会の現況と将来計画（その2）

理事長 中村 民雄

女子学生会館が竣工して10年、男子館建替えに向けて準備を始めるとともに、平成26年（2014）11月に竣工した女子館の建築経緯を整理して男子館建築の参考にしたいと思います。

まず、女子館の建築に当たっては、建築準備委員会（委員長：中村民雄、委員：大沼敏行、山田 渉、増村清人、事務局：酒井崇之）を立ち上げました。お茶の水女子大の新寮なども大学教授の肩書きを利用して事務局で調査させてもらうなど、2年ほどかけて間取りや設備といった概略案を検討した結果を平成25年（2013）4月21日の理事会および同年5月12日の評議員会に報告し、正式に「女子寮建築案」が承認されました。

さらに、同年9月8日に開催された理事・評議員合同会議において、建築資金の裏付けなど諸々の質疑応答がなされました。建築費4億2千7百万円に財団の基本金（1億3千万円の内）7千万円を出資し、3億5千万円借りる案で進んで行きました。また、徳倉建設に一括契約をする理由なども質されました。これについては、これまで三河郷友会の大規模修繕に数々の実績があり、価格面・ルームシェア方式の建築実績もあるので契約することといたしました。また、マンション建築に実績がある竹中工務店とは基本設計の段階から協議に加わってもらう「アドバイザー契約」も結ぶこととしました。これ以外でも、玄関先の防犯カメラやエレベーターの設置、全室にバス・トイレを設置した完全個室化、入り口から階段・廊下のバリアフリー化など、多岐にわたる質問が出ました。しかし、これら多くの要望は資金繰りとの関係から断念せざるを得ませんでした。ただ、完全個室化については、低学年の部屋にはバスのみ、トイレは共用としました。高学年はバス・トイレとも設置の完全個室としました。したがって、寮費にも差をつけ低学年は5万程度、高学年は5万5千円程度、院生室は6万円程度とすることも決まりました（光熱水料費を含む）。

会議後、同年12月には旧館（50人寮）の解体工事（『会報』NO49号）がはじまり、翌年2月には女子館建築工事が始まりました（『会報』NO51号）。この間も毎週のように、徳倉建設の現場監督・竹中工務店のアドバイザー・中村民雄・酒井崇之の4者が顔を合わせ、進捗状況を話し合っただけ調整を図って来ました。また、残っていた財団の基本金（6千万円）から5千万円は三菱UFJ銀行からの借入金減額（最終的に借入金は3億円）にあて、残り1千万円は外構工事費に使うなどしたため、基本金はすべて使いきってしまいました。その結果、三菱UFJ銀行からの借入金は3億円、利率2.5%、360回返済（2045年完済）という契約となり、平成26年（2014）12月（竣工の翌月）から元金1千万円と利息の返済が始まりました。

またその後、喫緊の課題として男子館の耐震補強の問題が浮上してきました。補強には6千万円ほどかかりますが、喫緊ということもあり平成30年（2018）7月、こちらも徳倉建設にお願いし11月に完了しました。女子館を建てただけで手持ち資金がなく、半額の3千万円をりそな銀行で借り、駐車場

代金で5年かけて返済することとしました。これも令和5年には完済し、あとは男子館建築のために資金を貯めるだけとなりました。

こうして、昨年11月女子館建築から10年を迎え、男子館建築の準備をする前に借入金10年目の見直し繰り上げ返済を考えました。元金返済額1千3百万円とし、利率を2.435%とする「証書貸付弁済条件変更契約証書」を取り交わしました。完済も4年ほど短縮し2041年となりました（女子学生会館の館費はこの返済金に充当するものです）。したがって、男子館建築に向けては、男子館の館費と駐車場収益を充てていくことになります。耐震補強工事という喫緊の課題もありましたが、それでも令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）末の決算によると、建替えの頭金として使える額は以下のとおりとなっています。

基本財産（定期預金）	21,000,000 円
改築改修積立金	19,003,131 円
同	71,026,382 円
合 計	111,029,51 円

なお、当初予定していた令和16年度（2034）までに3億円貯めるという計画は何とか達成できそうですが、問題は、昨今の人件費・建材費が毎年のように2割・3割と高騰し続け、予定の建築費6～7億では済まなくなってきたことです。理事長としては頭の痛いところですが、「館費」には非課税枠の上限額があり値上げもなかなかできないし、基本金や積立金は株式投資などで増やすことを禁じられているのでチマチマと貯めるしかありません。その点からもOB・OG各位の「男子館改築積立金」へのご寄付をお願いする次第です。また、女子館竣工以降OB・OG各位からご寄付いただいていた積立金は14,40万円（内、3,40万円は男子館の耐震工事費につぎ込みましたので、実質11,00万円）となっています。つまり、積立金の約1割を占めていますが、昨今の物価高騰を考えるとまだまだ足りないのでより一層のご寄付をお願いいたします

さらに、男子館耐震工事以降も「男子館改築積立金」をご寄付いただき、合計金額が5口（10万円）以上となっている方は、男子館建築時に**銘板**（女子館建築積立金をご寄付いただいた方の銘板は女子館事務室前に掲示）を設置し、そこにお名前を掲載させていただきます。令和6年度末で下記の方々のお名前を掲載させていただきますので、お名前間違いや5口以上寄付したのに漏れている方はご一報ください（なお、前号に大沼敏行・常務理事による「遺贈寄付」のお願いを掲載したのも、こうした事情を考慮）したものです。

愛知 功	青木 一正	味岡 秀樹	荒牧 功	磯村 文太
伊藤 貴紀	岩本 文彦	宇佐美和由	大嶋 一精	大塚 一
大沼 敏行	大林 市郎	尾崎 哲則	小澤 洋介	小野寺雅史
片岡 高文	片山 到	加藤 定彦	川寄 英輝	北村 彰
後藤 彰彦	佐藤 公彦	清水 幹良	杉浦 隆	杉浦 淳雄
杉浦 芳博	高原 雅美	竹内 精司	竹中 洪二	田淵 学
都築 慎治	寺嶋 隆	徳倉 正晴	戸谷 市三	鳥居 延行
永田 雅克	中根 隆裕	中村 民雄	夏目 俊信	野村 岳男
福井 康光	古田 尚義	堀田 恵子	増村 清人	松井 敏夫
宮田 卓明	山崎 宣典	山田 真己	山本 親	山本 智永

令和7年度の会費納入者一覧（令和7年4月1日～令和7年10月5日）

（金額を入れず、会費の種類・口数のみ書きますのでご了承ください。）

永田 雅克（普改1） 堀田 義高（普特） 三浦 敏（普） 伊藤 学（普） 荒牧 功（普）
紅林 淳（普） 前川 博久（普） 大谷 重信（普） 伊藤 明義（普特） 福間 淳（普）
松浦 一晃（普） 早川 勝博（普改1） 神谷 知宏（普） 都築 重和（普） 佐々木孝信（特）
浅田 信二（普） 鬼頭 誠（普改1） 磯村 文太（普改1） 山口 豊彦（百改1） 大西 貴史（普）
シャテラン恵美奈（特） 富川 学（普特） 米田 吉孝（普） 鈴木 義久（普） 神谷 寿興（特2）
匿名希望（普特改1） 加藤 定彦（特2改2） 加藤 盛芳（普） 松澤 崇（特2） 榊原 邦恭（普）
河崎 吉廣（普改1） 牧野 成憲（普） 磯村 真人（普） 梅村 耕一（普） 岩佐 正輝（普）
安藤 徹志（普） 岩月 一詞（普） 角岡 康夫（普） 南崎 仁志（普） 星野 君夫（特2）
芦沢 次郎（普） 愛知 功（普特改5） 米津 佑哉（特2） 伴 謙吾（普） 竹内 義人（特）
宮脇 正夫（普） 高山 潤一（普） 岩崎 仁（普） 鳥居 延行（普特） 武田 正道（普）
安川 彰吉（特） 中村 民雄（普特改5） 宮村 卓（普改1） 上原 智史（普改1） 間瀬 美涼（普）
朝岡 郁雄（普） 杉山 結香（普） 夏目 和人（特） 川寄 直輝（普特改1） 加藤 康雄（普）
片岡 高文（普特改1） 大沼 敏行（普改1） 永井 寛（特） 稲垣 光治（普） 千田紗也子（特2）
岡田 夏実（普） 河野 幸壱（普改1） 藤澤 孝好（特） 後藤 俊広（普特） 青木 一正（普）
竹中 洪二（普2特2） 中瀬 康博（普） 岩月 昭佳（普） 村松 誠（普） 杉浦 良二（普特）
岡田 吉央（普） 服部 具昭（普） 太田 博隆（普） 大林 市郎（普特改1） 原田 俊彦（普）
山田 喬（改2） 都築 廣一（特2改2） 高橋 明宏（特） 加藤 博和（普） 南 孝三郎（普特）
川出ヨシフミ（特） 山本 怜（普） 堀内 康平（普） 古澤 龍平（特） 荻野 寿喜（普改1）
小澤 洋介（普改3） 古田 晃久（特2） 柴田 裕（特） 大竹 克紀（普） 榊原 潤（普）
松田 健（普） 佐橋 祐亮（特） 大竹 有二（普改1） 前田 稔（普） 前田 文彦（普）
鈴木 晃悦（普） 山本 智永（普改1） 小川 源八（普） 鶴峯 輝哉（特） 竹内 精司（特2）
羽佐田啓介（普） 浅井 誠（普） 外山 康生（特） 鳥居 裕貴（普特） 野村 公昭（改1）
内田 肅（特） 鈴木 一元（普） 千葉 一郎（特2） 清水 幹良（普特改1） 八木 厚美（普）
稲前 恵文（普特改1） 中川 貴央（普特） 徳倉 正晴（普特改5） 渡邊 雄彦（特2改2）
内藤 友也（特） 安藤俊太郎（特改1） 富田 直輝（普） 渥美 桃子（普） 神谷 基恒（特）
鈴木 宏征（普改1） 浅井 和彦（普） 白井 孝一（普） 生田 直樹（普特） 山口 賢治（普）
高橋 倫彦（普） 大西 伸一（普） 夏目 俊信（普特改1） 藤井 千里（普） 萬崎 具昭（普）
小林和千男（特2） 平野 元（特2） 橋本 謙蔵（普） 早川久右衛門（普） 杉浦 芳博（特7改7）
勝部 敦史（特2） 兵藤 雄之（普特） 鈴木 愛那（普） 末廣 等（改1） 青木 篤也（普）
福井 康光（普特改2） 小野寺雅史（普改2） 鈴木 充樹（普） 長濱 隆（普） 渡辺 時啓（普）
杉浦 淳雄（普改1） 横山 泰久（普） 片山 到（普特改1） 山本 淳（普） 稲垣 琢巳（普）
高柳 政典（普） 山本 貴也（特） 深津 繁人（普） 宮田 隆之（普） 林 全宏（普）
山田 真己（普特） 中根 守久（普）

＊（普）：普通会費 （特）：特別会費 （改）：改築積立金 数字：会費の口数

令和7年度会費納入のお願い

三河郷友会OB・OG会会則第3条（本会は、三河郷友会学生会館OB・OG会員相互の交流と友情を深めるとともに、公益財団法人三河郷友会に対する維持運営に財政援助することを目的とする。）にもとづき、令和7年度の会費をご納入下さいますようお願いいたします。

なお、郵便振替（00150-8-27434 三河郷友会OB会）窓口入金の場合、「男子館改築積立金」5口（10万円）以上のご寄付には、身分証明書の提示を求められることがありますので、その時はご了承くださいますようお願いいたします。

普通会費	3,000円
特別会費（1口）	5,000円
男子館改築積立金（1口）	20,000円
*（公益財団法人三河郷友会で「改築改修積立金」として積立てます）	
創立百年史（残部僅少）	7,500円

*普通会費・特別会費はOB・OG会の運営費に充当します。

*男子館改築積立金をご寄付いただいた方には、「寄附金受領証明書」を発行しますので、確定申告書に添付して税制上の優遇措置を受けてください。

*普通会費・特別会費で繰越金が出た場合、公益財団法人三河郷友会へ寄付し、「特定費用準備金（改築改修積立金）」に計上します。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜あ と が き＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・

この『会報』は、OB・OGだけでなく現役生（保護者）にも送っています。これは郷友会の活動をご理解いただき、卒館後、会が掲げる「OB・OGは現役生を支える」活動に参加してもらいたいからです。このことをご理解の上、ぜひ会費等のご寄付ならびに卒館してからもOB・OGとして長いお付き合いをお願いします。

さて、今年の猛暑もようやく一段落した今日この頃、夏の光熱水料費に頭を抱えながらももう少し節約できないか館長と顔を付け合わせているところです。そんな矢先、お風呂の湯は出っぱなし、食堂は一晚中電気もエアコンもつけっぱなし、多目的室使っていないのにエアコンつけっぱなし、目にする度に館長を通して注意喚起するのですがなかなか改善しません。塵も積もれば山となる。そんなチマチマしたところから男子館建替えに日々臨んでいることをご理解くださいますようお願いいたします。

（理事長 中村民雄）

OB会事務局

〒112-0002

東京都文京区小石川 5-19-37

公益財団法人 三河郷友会内

info@mikawagoyukai.net

<http://www.mikawagoyukai.net>

TEL 03-3946-0342（館長：酒井）